作物の種類	ペレニアルライグラス	457	1次必須項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	草型	10個体、2反復	観察		直立	やや直立～直立	やや直立	中間～やや直立	中間	中間～ややほふく	ややほふく	ややほふく～ほふく	ほふく	節間伸長～出穂期に株の外周部の主要な茎が地表と作る角度
2	草丈	10個体、2反復	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										出穂期又は1番草の草丈
3	穂長	10個体、2反復	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										穂の最下位1次枝梗基部から先端までの長さ
4	葉身長	10個体、2反復	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										止葉下第1葉の葉身の長さ
5	葉身幅	10個体、2反復	測定	mm（小数第2位を四捨五入）										止葉下第１葉の葉身の幅
6	出穂始日	10個体、2反復	観察	年 月 日										個体の出穂始日の平均値
7	茎の太さ	10個体、2反復	観察・測定		極細	より細	細	やや細	中	やや太	太	より太	極太	出穂期又は1番草の最長出穂茎について穂直下節間の稈の長径を測定（0.1mm）又は観察する
8	茎数	10個体、2反復	観察		極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	出穂期又は1番草の茎の多少
9	穂数	10個体、2反復	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	出穂期又は1番草の出穂茎の多少

作物の種類	ペレニアルライグラス	457	1次選択項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	稈長	10個体、2反復	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										出穂期における主要茎の地際から穂の最下位の1次枝梗の基部までの長さ
2	葉色	10個体、2反復	観察		極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	より濃	極濃	出穂期における葉身の緑度
3	幼植物のアントシアン着色	10個体、2反復	観察		極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	より濃	極濃	1個体ごとに茎基部の着色を観察、越冬前に行う
4	成植物のアントシアン着色	10個体、2反復	観察		極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	より濃	極濃	1個体ごとに節の着色を観察、出穂始め～穂揃期に行う
5	出穂茎率	10個体、2反復	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	再生草における全茎数に対する出穂茎数の比率
6	秋の出穂性	10個体、2反復	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	再生株の秋の出穂の多少
7	葉質（粗剛度）	10個体、2反復	測定		極柔	より柔	柔	やや柔	中	やや剛	剛	より剛	極剛	出穂期における葉の粗剛程度を触感により測定
8	1000粒重	10個体、2反復	測定	g（小数第3位を四捨五入）										計20個体（10個体2反復）の混合精選種子を100粒4反復秤量して1000粒重に換算
9	20穂重	10個体、2反復	測定	g（小数第2位を四捨五入）										20穂の風乾物重を測定

作物の種類	ペレニアルライグラス	457	2次必須項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	冠さび病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種または圃場における冠さび病の発生程度による評価
2	網斑病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種又は汚染圃場における網斑病の発生程度（病斑面積率）による評価
3	再生性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	春1番草刈取後2週間目の再生の程度
4	秋の草勢	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	秋の生育量の多少
5	越夏性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	越夏後の初秋における枯死率，再生茎率，草勢などの総合評価
6	越冬性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	越冬後早春における萌芽茎率と葉枯程度により総合評価

作物の種類	ペレニアルライグラス	457	2次選択項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	葉腐病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	発生した被害程度を評点
2	斑点病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	病斑および葉枯面積率より評点
3	かさ枯病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	病斑および葉枯面積率より評点
4	雪腐病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	発病時に被害の多少により評点（多雪地での越冬後）
5	耐雪性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	多雪状態での越冬性の良否を融雪後10～15日目の葉と茎の枯死割合によって評価
6	麦角病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	麦角の着生程度（無～多）により評点
7	いもち病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種または汚染圃場における罹病の明らかな時期に罹病程度から抵抗性の強弱を判定
8	春の草勢	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	萌芽後2週間目の草量により評価
9	春播性	10個体、2反復	観察	無	極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高	春播した場合の出穂個体率より評価（0%:無～100%:極高）
10	耐倒伏性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	1番草出穂期における倒伏の程度を評点

作物の種類	ペレニアルライグラス	457	３次必須項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	生草収量（春季）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										春季（～5月）刈取草について測定、秤量面積は2㎡以上
2	乾物率(春季)	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										春季（～5月）刈取草について、生草300～500gを70℃48時間以上、恒量になるまで通風乾燥する
3	乾物収量（春季）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）										春季(～5月)刈取草について(生草収量×乾物率)により算出
4	生草収量（夏季）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										夏季（6～8月）刈取草について、春季と同様にして測定
5	乾物率（夏季）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										夏季（6～8月）刈取草について、春季と同様にして測定
6	乾物収量（夏季）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）										夏季（6～8月）刈取草について、春季と同様にして算出
7	生草収量（秋季）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										秋季（9月～）刈取草について、春季と同様にして測定
8	乾物率（秋季）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										秋季（9月～）刈取草について、春季と同様にして測定
9	乾物収量（秋季）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）										秋季（9月～）刈取草について、春季と同様にして算出

作物の種類	ペレニアルライグラス	457	３次選択項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	乾物消化率	2区2反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										酵素法または近赤外分析法による(乾物中%)
2	粗たん白質	2区2反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										ケルダール法又は近赤外分析による(乾物中%)
3	ＡＤＦ	2区2反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										酸性デタージェントーアセトン洗浄による(乾物中%)
4	ＮＤＦ	2区2反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										中性デタージェントーアセトン洗浄による(乾物中%)
5	ＡＤＬ	2区2反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										酸性デタージェントリグニンとして定量(乾物中%)
6	単少糖	2区2反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										アルコールで抽出,フェノール硫酸法で定量(乾物中%)
7	永続性	2区2反復	観察・測定		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	播種後3～4年目の生存個体率あるいは被度により評価する
8	放牧適性	2区2反復	観察・測定		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	放牧条件下における被度，採食率，草量等を測定観察し，総合的に評価
9	採食性	2区2反復	観察・測定		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	放牧条件下における採食率，採食時間，採食程度等を観察測定し，総合的に評価
10	採種量	2区2反復	測定	g/㎡（小数第1位を四捨五入）										１区１㎡当たりの精選種子収量を調査
11	1穂種子重	2区2反復	測定	g/穂（小数第2位を四捨五入）										平均的な大きさの20穂から得られる純種子重の平均（1穂当たり）
12	稔実歩合	2区2反復	測定	%（小数第1位を四捨五入）										平均的な大きさの穂10穂について，穎花数と精選粒数を計測し，精選粒数／穎花数×100として表示